

2026年度後期分 授業料免除及び徴収猶予申請書(留学生E枠)

◎申請者(2026年10月1日現在の状況を記入すること)

ふりがな			学籍番号			入学年月	年	月
氏名								
所属学部 又は専攻等	学部		学科				回生	
	大学院		課程		専攻			
住所 (現住所を記入)	〒		都道府県		☐ 自宅通学 ☐ 自宅外通学			
					連絡先	携帯電話		
						メールアドレス		
標準修業年限 の超過	☐ 超過していない ☐ 超過している ※超過している場合、申請することができません。		長期履修学生制度 の利用の有無	☐ 利用している ☐ 利用していない 許可された長期履修期間： 年				
休学期間の有無	☐ 休学期間なし ☐ 休学期間あり(休学期間： 年 月)							
授業料徴収猶予に関する審査について			☐ 希望しない ※徴収猶予を希望しない場合のみチェックしてください。					

◎申請理由

☐ 経済的理由により納付が困難 ☐ 申請前6ヶ月以内における学資負担者の死亡(新入生は入学前1年以内) ☐ 申請前6ヶ月以内において本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた(新入生は入学前1年以内) ☐ その他()

・「留学」の在留資格申請時又は在留資格更新時の「申請書」、「経費支弁書」、「滞在費支弁に関する申告書」等にて、「本人」又は「経費支弁者」に経費支弁能力があると申告したにもかかわらず、今回、授業料を支払うことが困難になった理由を記載してください。

◎各種制度への申請状況について

申請種別	申請状況	
2026年度前期分授業料免除及び徴収猶予(E枠)	☐ 申請した	☐ 申請していない
2026年度後期分学業優秀者支援枠(A枠)	☐ 申請した	☐ 申請していない
2026年度入学料免除および徴収猶予【2026年度新入生のみ】	☐ 申請した	☐ 申請していない

※大学記入欄(何も記入しないこと)

書類確認			書類チェック・所得計算		データ入力	データ入力確認		学力基準	家計基準
住民票	所得証明①	所得証明②	確認者①	確認者②	入力者	確認者①	確認者②		

◎家庭状況報告書

- 収入に関する事項
- ※ 日本で生活を共にする者についてのみ記入すること。
 - ※ 収入に関する証明書（課税証明書、源泉徴収票、確定申告の写し等）の内容を確認して金額を記入すること。（千円未満は切り捨て）
 - ※ 金額の記入の仕方がわからない場合は空欄で提出しても構わないが、続柄及び氏名の欄は必ず記入すること。

続柄	氏名	「給与収入」に当てはまるもの			合 計			「給与以外の所得」に当てはまるもの			合 計		
		①給 与	②年 金	③その他	①+②+③			④自営業	⑤その他		④+⑤		
		千円	千円	千円	千円			千円	千円		千円		千円
		千円	千円	千円	千円			千円	千円		千円		千円

- 本人及び日本で生活を共にする兄弟姉妹について記入
- ※ 「設置者」及び「学校種別」については、該当するものに○を付けること。

就学者（大学及び高等学校）	続 柄	学 校 名	学校種別	学年	設置者	氏 名	通学の別	修学支援新制度の有無
	本人	奈良女子大学	大学院		国立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
			大学院 大 学 高 専		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
	兄弟姉妹の 授業料免除の状況		2025年度前期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）				2025年度後期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）	
			大学院 大 学 高 専		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
	兄弟姉妹の 授業料免除の状況		2025年度前期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）				2025年度後期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額（ 円）	
就学者（上記以外）	続 柄	学 校 名	学校種別	学年	設置者	氏 名	通学の別	高等学校等就学 支援金の有無
			小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特別支援学校		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
			小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特別支援学校		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
			小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特別支援学校		国立 公立 私立		☐ 自宅 ☐ 自宅外	
除就 く学 家者 族を	続 柄	氏 名	年 齢	別居	所属先（予備校名、無職等）を詳しく記入			備考

- 特別な事情がある世帯

☐ 障害者がいる	続柄	氏名	障 害 の 程 度	
☐ 災害等に被災した	被 災 年 月 日		被 災 種 別	
	年 月 日		火災・風害・水害・その他（ ）	

○毎月の平均的な収支状況について（2026年10月1日現在の状況を記入すること）

※ 本人及び日本で同居している家族（本国の家族は含めない）の1ヶ月の平均収入・支出について記入すること。

※ 収入には、自身のアルバイト、同居する家族の収入、本国からの仕送り、奨学金等全て記入すること。

収入状況	定職・アルバイト等収入（本人）	円
	定職・アルバイト等収入（本人以外）	円
	奨学金（貸与型） （奨学団体名： ）	円
	奨学金（給付型） （奨学団体名： ）	円
	母国からの仕送り	円
	預貯金の切り崩し	円
	その他（ ）	円
	収入合計	円
支出状況	住居費（家賃）	円
	食費	円
	衣服・日用品費	円
	光熱水費	円
	保険・医療費	円
	書籍・教材費	円
	その他支出 （ ）	円
	（ ）	円
	支出合計	円

※ 経済状況の確認のため、以下の書類を提出してください。

- ・ 過去半年分の出入金及び残高がわかる通帳の写し（母国からの仕送りがあれば、仕送り金額がわかる部分も含む）
- ・ 奨学金を受給している場合は、受給金額がわかる書類
- ・ その他大学が必要と認める書類

○授業料の減免を必要とする理由、経済状況について

※ 以下に詳細を記載してください。

奈良女子大学長 殿

私は、2026年度後期分授業料の免除及び徴収猶予を受けたいので、許可くださるよう必要書類を添えて申請します。

申請にあたり上記に記入する事項及び提出する書類は事実と相違ありません。

これに虚偽の事実がある場合は免除された授業料を速やかに納付します。

年 月 日

申請者署名：

2026年度後期分 授業料免除及び徴収猶予申請書(留学生E枠)

◎申請者 (2026年10月1日現在の状況を記入すること)

内容は「2026年10月1日現在」の状況を記入。

ふりがな	ナラジョ ハナコ		学籍番号	26000000	入学年月	2026 年 4 月
氏 名	奈良女 花子					
所属学部 又は専攻等	学部 大学院 博士前期 課程		学科 1 回生 専攻 人文社会学			
住 所 (現住所を記入)	〒000-0000 0000		都 道 府 県	☐ 自宅通学 ☒ 自宅外通学		
	00市 00町 001丁目			携帯電話	090-1234-5678	
※変更等が生じた場合にはすみやかに学務科へ行ってください。 日本で家族と同居している者に限り、「 ☐ 自宅通学」にチェックすること。 日本で自分一人で生活している場合は「 ☐ 自宅外通学」にチェック。 komo.ne.jp						
標準修業年限 の超過	☒ 超過していない ☐ 超過している		長期履修学生制度 の利用の有無	☐ 利用している ☒ 利用していない		
休学期間の有無	☒ 休学期間なし ☐ 休学期間あり (休学期間: 年 月)		許可された長期履修期間: 年			
授業料徴収猶予に関する希望について ☐ 希望しない ☒ 希望する(希望しない場合のみ記入してください)。						

◎申請理由

☒ 経済的理由により納付が困難 ☐ 申請前6ヶ月以内における学資負担者の死亡(新入生は入学前1年以内) ☐ 申請前6ヶ月以内において本人又は学資負担者の死亡(入学前1年以内) ☐ その他 ()	☒ 申請理由で該当するチェック欄を必ず記入。 ☒ 該当する理由がない場合は、その他の()内に記入。
---	---

・「留学」の在留資格申請時又は在留資格更新時の「申請書」、「経費支弁書」、「滞在費支弁に関する申告書」等にて、「本人」又は「経費支弁者」に経費支弁能力があると申告したにもかかわらず、今回、授業料を支払うことが困難になった理由を記載してください。

.....

前年度後期及び今年度前期に学内の授業料免除制度等に申請した場合は、「☐ 申請した」にチェック。

◎各種制度への申請状況について

申請種別	申請状況	
2026年度前期分授業料免除及び徴収猶予 (E枠)	☐ 申請した	☒ 申請していない
2026年度後期分学業優秀者支援枠 (A枠)	☒ 申請した	☐ 申請していない
2026年度入学料免除および徴収猶予【2026年度新入生のみ】	☐ 申請した	☒ 申請していない

※ 大学記入欄 (何も記入しないこと)

書類確認 住民票 所得証明① 所得証明②			書類チェック・所得計算 確認者① 確認者②		データ入力 入力者	データ入力確認 確認者① 確認者②		学力基準	家計基準

◎家庭状況報告書

○収入に関する事項

※ 日本で生活を共にする者についてのみ記入すること。

※ 収入に関する証明書（課税証明書、源泉徴収票、確定申告の写し等）の内容を確認して金額を記入すること。（千円未満は切り捨て）

※ 金額の記入の仕方がわからない場合は空欄で提出しても構わないが、続柄及び氏名の欄は必ず記入すること。

続柄	氏名	「給与収入」に当てはまるもの			合 計 ①+②+③	「給与以外の所得」に当てはまるもの			合 計 ④+⑤
		①給 与	②年 金	③その他		④自営業	⑤その他		
父	奈良女 太郎	3 6 0 0 0			3 6 0 0 0				0

○本人及び日本で生活を共にする兄弟姉妹について記入

※ 「設置者」及び「学校種別」については、該当するもの

就学者（大学及び高等学校）

続 柄	学 校 名	学校種別	2026年10月1日時点での就学状況を記入。 (就学者とは、「小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、大学院、特別支援学校、専修学校(高等課程・専門課程)」に在学する人のこと。「専修学校(一般課程)・予備校・各種学校」は含まない。)					
本人	奈良女子大学	大学院						
弟	〇〇〇〇大学	大学院 大 学 高 専	4年	公立 私立	奈良女 一郎	☐ 自宅 ☒ 自宅外	有	
兄弟姉妹の 授業料免除の状況		2025年度前期分授業料免除結果 ☒ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額 (〇〇〇, 〇〇〇 円)			2025年度後期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☒ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額 (〇〇〇, 〇〇〇 円)			
		大学院 大 学 高 専		国立 公立 私立			☐ 自宅 ☐ 自宅外	
兄弟姉妹の 授業料免除の状況		2025年度前期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額 (円)			2025年度後期分授業料免除結果 ☐ 全額免除 ☐ 2/3額免除 ☐ 半額免除 ☐ 1/3額免除 ☐ 1/4額免除 ☐ その他一部免除 ☐ 免除無 免除額 (円)			

就学者（上記以外）

続 柄	学 校 名	学校種別	学年	設置者	氏 名	通学の別	高等学校等就学 支援金の有無
妹	〇〇〇高等学校	小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特	1年	国立 公立	奈良女 純子	☐ 自宅 ☒ 自宅外	有
		小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特	勤務先は、具体的に記入。(仕事を2つ以上している場合はすべて記入すること) 勤務先: 〇〇会社、〇〇市役所、〇〇市立〇〇小学校等 事業主: 〇〇商店経営等 無職で収入がある: 主婦、無職、退職金支給、雇用保険受給、傷病手当金受給、年金収入等 無職で全く収入がない: 無職・無収入 ・「○収入に関する事項」の欄については無職でも収入があれば収入の金額を記入すること。				
		小・中・高 ・専修（高等） ・専修（専門） ・特					

除就学者家族を

続 柄	氏 名	年 齢	別居	所属先（予備校名、無職等）を詳しく記入		備考
父	奈良女 太郎	53	○	(株)〇〇商事		
姉	奈良女 良子	25		無職、雇用保険受給		

○特別な事情がある世帯

☒ 障害者がいる	続柄	氏名	
	姉	奈良女 良子	身体障害者1級
☐ 災害等に被災した	被災年月日	被災種別	
	年 月 日	火災・風害・水害・その他 ()	

○毎月の平均的な収支状況について（2026年10月1日現在の状況を記入すること）

※ 本人及び日本で同居している家族（本国の家族は含めない）の1ヶ月の平均収入・支出について記入すること。

※ 収入には、自身のアルバイト、同居する家族の収入、本国からの仕送り、奨学金等全て記入すること。

収入状況	定職・アルバイト等収入（本人）	80000	円
	定職・アルバイト等収入（本人以外）		円
	奨学金（貸与型） （奨学団体名：_____）	仕送りがある場合には、仕送り金額がわかる預金通帳の写し等を提出すること。	円
	奨学金（給付型） （奨学団体名：_____）		円
	母国からの仕送り	10000	円
	預貯金の切り崩し		円
	その他（_____）		円
	収入合計	90000	円
支出状況	住居費（家賃）	_____	円
	食費		円
	衣服・日用品費	10000	円
	光熱水費	5000	円
	保険・医療費	5000	円
	書籍・教材費	10000	円
	その他支出 （_____） （_____）		円
	支出合計	90000	円

※ 経済状況の確認のため、以下の書類を提出してください。

- ・ 過去半年分の出入金及び残高がわかる通帳の写し（母国からの仕送りがあれば、仕送り金額がわかる部分も含む）
- ・ 奨学金を受給している場合は、受給金額がわかる書類
- ・ その他大学が必要と認める書類

○授業料の減免を必要とする理由、経済状況について

※ 以下に詳細を記載してください。

自身の経済状況等と併せて授業料減免等を必要とする理由を記入してください。
なお、ここにて記入された内容を基に選考を行うことはありません。

奈良女子大学長 殿

私は、2026年度後期分授業料の免除及び徴収猶予を受けたいので、許可くださるよう必要書類を添えて申請します。

申請にあたり上記に記入する事項及び提出する書類は事実と相違ありません。

これに虚偽の事実が申請書類を提出する年月日を記入。 料を速やかに納付します。

2026 年 10 月 8 日

申請者署名：

奈良女 花子